

★ ペタンク競技概要 ★

【概要】

木製の小さなビュット（目標球）に、金属製のボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競い合うゲームです。ボウリングは目標のピンを倒す数で競いますが、ペタンクは目標のビュットに、より近く止めることを競います。

ボールは、最初からゴロで転がしても、空中に高く投げ上げて構いません。ただし、普通は、手の平を下に向け、手首を返し投球します。このような投球をすれば、ボールにバックspinがかかり、距離をコントロールしやすくなります。

【場所】

グラウンド、公園、空地、駐車場などで行います。細かな砂利が敷いてあって、ボールがバウンドしにくい地面が適しています。芝生は適しません。そのような場所で寝なうとおもしろさが半減しますので注意しましょう。

【用具】

* ボール

金属製、直径7.05～8.00cm、重さ650～800g

普通はマイボールとして、1人3個のボールを所有します。

* ビュット（木製）

目標球のことです。

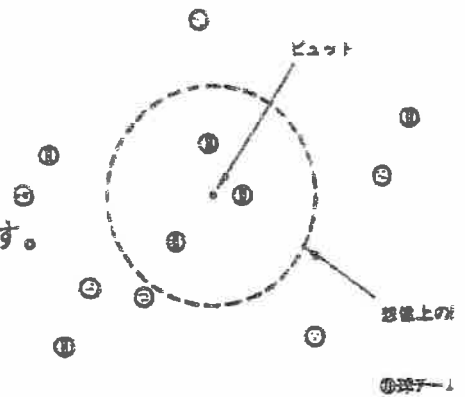
直径25～35mm、重さの規定はありません。

見やすくするために、着色しても構いません。

* メジャー

金物屋などで販売されている普通のメジャーが良いでしょう。

2m程度のもので使いやすいと思います。



ペタンクの布点の数え方

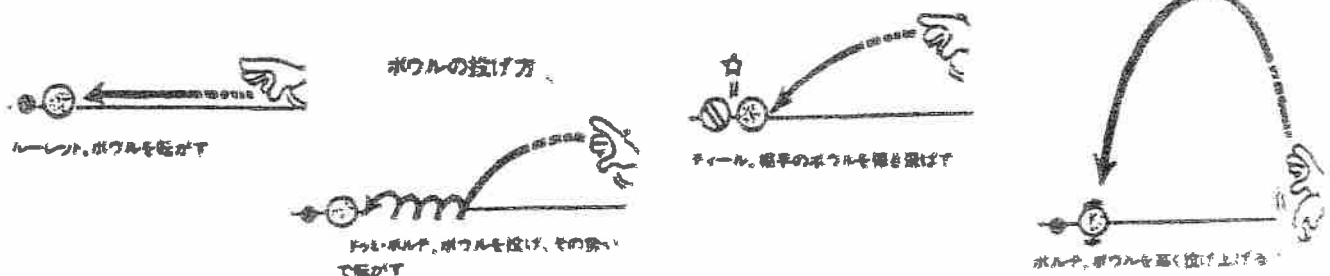
【方法】

* 持ちボールの数

トリプルス（3人対3人）では、各プレイヤーの持ちボールは2個

ダブルス（2人対2人）では、各プレイヤーの持ちボールは3個

シングルス（1人対1人）では、各プレイヤーの持ちボールは3個



*投球位置と投球方法

1. 競技者は全員コートに集合し、じゃんけん、くじ引きなどで、ピュットを投げる権利を決めます。
2. ピュットを投げる権利を得たチームの1人がスタート地点を定め、直径35~50cmの円を描きます。
この円を投球サークル、またはサークルと呼びます。
3. ボールを投げる時は、両足をサークル内に入れます。線を踏んだまま投げてはいけません。
4. ピュットをサークルから投げます。
5. ピュットとサークルの距離は、6~1.0mでなければいけません。

*有効ならないピュット

1. 同一チームが投げたピュットが有効にならない場合は、3回まで繰り返して投げる事ができます。
2. 3回なげても有効にならない場合、ピュットを投げる権利は、相手チームに移ります。
3. いずれの場合も、最初にピュットを投げたチームが、最初のボールを投げる権利があります。

*投球順番

1. 一方のチーム（先攻）が、サークル内よりボールを投げます。
2. 次にもう一方のチーム（後攻）が、サークル内よりボールを投げます。
3. その次は、ポイントを取っていないチーム（ピュットに一番近いボールがないチーム）が、ポイントを取るまでボールを投げ続けます。
4. この場合、一方のチームが持ちボールをすべて投げ終わってしまったら、もう一方のチームは、残りの持ちボールをすべて投げます。
5. チーム内の投球順番は自由です。

*ポイント

1. 相手チームのどのボールよりも、ピュットに近い自分のチームのボールがあるとき、その近いボールの数だけポイントになります。
2. メーヌ（セット）終了時にポイントを計算します。メーヌをは、ピュットを投げて競技を開始してから、最初の持ちボールを投げ終わるまでの間の事です。
3. ポイントがあったチームが、次のメーヌでピュットを投げます。

*勝敗

1. 13点を先取したほうが勝ちです。
2. ただし、予選試合では、11点をすることもあります。